

# 月刊 JMITU ナニがナニ



4月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部  
セガ グループ分会 2017年発行

No.388

## 春闘 夏季一時金回答、業績が良いのなら

### 一時金だけでなく大幅賃上げを！

#### 夏季一時金係数

#### 0.5上乘せの2.25

3月31日に、SHD・SIC・SLS、3社と春闘・夏季一時金についての団体交渉が行われました。

SHD 5803円  
SIC 5558円  
SLS 5150円

#### 夏季一時金

3社とも係数2.25  
SHD 75万5千円  
SIC SHDと近い数字  
SLS 73万2820円

業績が悪いという理由で、7年間、一時金の係数は抑えられてきました。

「A2からA1への降格」が明記されています。

また7段階評価から6段階評価になり、今まで標準評価にいた75%の人達の45%が、今までの昇給額より低くなります。

標準にいる人達も更なる競争をさせ成果主義を強めます。

会社は、毎回同じ査定ではなく入れ替わっているので、常に昇給が、低くなるわけではないと発言していますが、この人の査定はこれと決まってしまうとよっぽどのがない限り、査定は毎年同じです。

上司が職場内の査定をローテーションで回していない限り、そうは変わりません。

組合「査定は、直属の上司がつける、その上司も人間なので、誤った査定をしてしまう時もあるかもしれない、そうした時に、評価に対して納得ができない

いと申し立てできる窓口を人事部で、作るべきではないか」

会社「過去に1件、人事相談窓口に、評価について不満だと相談があり調べたが、会社としては、全く妥当な評価だった。

査定について問題がないので窓口はつくらない。」

新人事制度に自信があるのか、窓口相談がたくさん来るのを恐れてか、会社は設置しようとはしません。

組合「時間有給については」  
会社「フレックスタイムの運用の仕方を変えられる。」

組合「インセンティブについては、支給されるのか」  
会社「期末のインセンティブは3月締まっていけないので確定できない。」

組合は春闘、新人事制度改定、フレックスタイムについて引き続き交渉していきます。  
次回団体交渉4月19日(水)

今回の会社回答で、「今期は業績が良く回復したと判断。

係数を2.25に戻したのではなく、今までの1.75に0.5のせるという考えだ。」

組合「業績が回復したと言えるのであれば、賃上げや、リロポイントを戻せないのか」

会社「昇給のところは影響が大きいのでは変えられない。リロポイントを戻すことが、社員にとって本当に良い事なのか、別の方法も模索している。」

#### SIC人事制度改定

#### A2からA1への降格明記

今回のSIC人事制度改定では、今まで行ってこなかった

# 政府の「実行計画」

## 働き方改革とは誰の為？

### これでは「働き方」改悪だ

政府の「働き方改革実現会議」が3月28日に「実行計画」を決定しました。

安倍首相は「労働法制史上の大改革」と自賛しています。

その実態は労働者と国民の願いに背く「働き方」改悪です。

### 長時間労働に「お墨付き」

いま長時間労働が働く人の心身の健康を傷つけ、子育てや地域社会など日本社会の発展を妨げている下で、この是正は切実な国民的要求であり、日本経済と社会の健全な発展にと

って急務です。

ところが政府の「実行計画」は、「時間外労働について罰則付きの上限を新設しているものの、繁忙期の上限は「月100時間未満」という驚くべき内容です。

休日労働を含めれば「年960時間、毎月80時間」まで働かせることが可能です。

すでに製造大企業などの職場で横行している異常な実態に「お墨付き」を与えるものです。

みなさん仮に毎月80時間、時間外労働をしてさらに通勤時間を加えてみてください。

蓄積疲労した体と頭で効率

的な仕事ができるでしょうか。

「過労死ライン」超の長時間労働を容認する基準では労働者の命と健康を守る歯止めには到底なりません。

### 改革の名のかたる雇用破壊

「同一労働同一賃金」では基本給・一時金について企業の判断による「違いに応じた支給」すればよいとし、非正規労働者・女性労働者への差別と格差が固定されています。

最低賃金は時給1000円をめざすとしつつも、達成まで数年かかる「年率3%程度」という従来の速度を変えず、地域格差は正の立場はありません。

「雇用型テレワーク」など、労働法の保護や雇用保険・社会保険の枠外に労働者を追いやる、「雇用関係によらない」使い捨ての低賃金・不安定就労の

拡大も企てています。

これらは財界の利益を代弁した雇用破壊にほかならず、改革の名に値しません。

### 人間らしく働ける社会へ

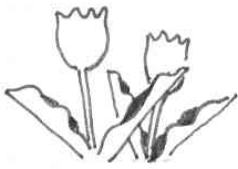
「8時間働けば普通に暮らせる社会」「年金支給年齢を遅らされて60才過ぎて生活のために働かなくてもいい社会」

「不安定雇用ではなく正規労働者として税金を納められる社会」「介護のために離職しなくてもいい社会」「労働法制、社会保障、介護保険、どれも私たち労働者＝国民にとって大事な問題です。

今すぐ関係なくても関心を持ってください。

# 4こ未漫画





シヨートシヨート

## 条件反射

仙洞田一彦

こうしたところに書く題材としては、あまりふさわしくないかも知れないが――。

ビールを飲むとトイレが近くなつて困る。一杯やつて電車で帰る途中、トイレに行きたくなることがある。蒲田まで我慢できそうもない時は、仕方ないから途中下車する。

そういう時はたいがい晚い時間だから途中下車したくないけど、こればかりはしょうがない。若い頃のそういう記憶があまりないから、年のせいなのかも知れない。あるいは記憶するほどの出来事ではないから記憶にないのか分らない。

先月の中頃、中央線の甲府

のさらに向こうNというところに用事があつて行つた。新宿から甲府まで特急で行き、そこで各駅停車に乗り換えて行く。

わたし自身田舎の出だから、都会人ぶつて言うことはないが、東京の生活の方がはるかに長くなつてしまつたせいで、いちいち発見がある。カルチャー・シヨックとでもいうものかも知れない。

数人の集まりで、N駅のすぐそばの建物で行われた。駅を離れば、畑や山林。点在する住宅といった風景。駅のあるところも標高はそれなりに高い。駅前で見回しても、大きい建物はそこ一つだけだつた。公共の機能がそこに集められているという感じの建

物だつた。

午後三時から会場を借りてあるとのこと。玄関口に、その日の利用予定が表示してあつた。何号室は、何時から何時まで、何々という団体という表示で、こうした建物なら玄関先でどこでも見かける表示である。

見ると「大集会室・四時」と書いてあつた。会場を申し込んだ人が時間を間違えたのか、役所の方が間違えたのか、分からない。東京なら、まず窓口でそれを確認しなければならぬ。

「まずいんじゃないですか」「いいんだ、いいんだ」わたしと言つたことに、地の人が答えた。東京で――と、いちいち東京を引き合いに出すのは、どうかと思うが

東京の経験では、そうした会場は一時といつたら一時にならなければ、絶対に開けてくれない。五分前、三分前でも鍵を開けてくれない。終りも五時なら五時、何をしていようが、会場を追い出されてしまう。

もともと十人に満たない集まりで「大集会室」。他に空き部屋がなければ仕方ない。数分前なら仕方ないが、一時間以上も前である。内心どうなんだろうと思いつつ「いいんだ、いいんだ」という人について行つた。受付窓口から、我々も見えるし、実際に中の人が見ているのだが、何も言わない。

部屋は開いていた。勝手にテーブルを動かして、少人数の会議ができるようにした。

部屋も看板から想像するよう  
な広さではなかった。借用料  
百九十円という。とにかく集  
まりは終えた。部屋は暖房が  
入っているのかいないのか、  
寒くて体が冷えてしまった。

めでたく終えたので、一杯  
やりましょうということにな  
った。それは予定に織り込み  
ずみのことだった。

その建物を出て少し歩くと  
飲み屋があった。飲み屋らし  
いのはそこ一軒だけだった。  
東京なら、ここがいったいど  
つたら、次へ行こうというこ  
ろだが、ここでは選択の余  
地がない。

「ちよつと早いけど」

暖簾が出ていない開店前の  
店だった。他に飲みに行くこ  
ろもないので、みんな顔見  
知りなんだろうと思つたし、

時間にこだわる必要がない所  
かも知れない。

一時間半ほどの、楽しい時  
間が過ぎた。帰りの電車もあ  
るので、地元の人を置いて店  
を出た。

駅前の公衆便所に寄つてか  
ら駅に入った。三月半ば、山  
間では陽が落ちると寒い。三  
両編成の電車が入って来た。

会議場所の寒さ。トイレの  
我慢。よせばよいのに飲んだ  
ビールで、排尿のリズムが狂  
ってしまったようだ。

駅がいくつか過ぎた。その  
あたりから「甲府まで持つか  
な」という思いが過つた。そ  
うなるともう駄目である。意

を決して、次の停車駅で電車  
を降りた。ボタンを押さなけ  
ればドアが開かない。ボタン  
を押してホームに降りた。ホ

ームを見ると真つ暗だった。  
ホームは鉄柵で仕切られ、そ  
の外側は畑。トイレらしいも  
のはない。

降りたところが電車の最後  
部だったから、電車から顔を  
出している車掌に聞いた。  
「駅にトイレありますか」

「ありません」

慌てて、空いているドアか  
らまた車内に戻つた。  
すぐに車掌に聞いて良かつ  
たと思つたが、同時に、これ  
はやばいと思つた。とても甲

府までは持ちそうもない。次  
の駅にはトイレがあるのだろ  
うか。きわめて差し迫つた問  
題だった。頭は半ば空白状態

で、元いた座席に腰掛けた。  
すると、世の中には親切な  
人がいるもので、隣の中年男  
性が言つた。

「電車に、トイレ付いていま  
すよ」

そう言つて車両の進行方向、  
前の方を指した。

先入観というか、習慣とい  
うのは怖いものだ。普段利用  
する電車は京浜東北線か山手  
線。トイレに行きたい時は電  
車を「降りる」。そういうもの

だという頭だった。追い詰め  
られていたときは、特に思考  
の柔軟性を欠く。周囲を冷静  
に見ることができない。差し  
迫つた問題で頭がいったいに

なり、状況を把握できない。  
それが……。  
こんなことをくだくだ書い  
ても仕方ない。

くだくだ書き続けて月刊  
『ディスク』のショートショ  
ートが、これで三百六十編に  
なった。

## メーデー

第88回メーデーが、5月1日(月)代々木公園で行われます。メーデースローガンは「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」です。

メーデーの起源は、1886年5月1日、長時間労働で苦しむアメリカの労働者が8時間労働を要求して約35万人がストライキに立ち上がったこととです。1日12時間から14時間労働が当たり前だった当時、「8時間は仕事のために、8時間は休息のために、そして残りの8時間は自分の好きなことのために」を目標に行われました。

1890年5月1日、世界の

労働者が8時間労働を要求してストやデモを展開したのが第一回メーデーです。日本では1920年に上野公園で1万人が集まったのが最初です。

5月1日に労働時間短縮をはじめとした共通の要求を掲げて集会を行い、デモを行うことは労働者の連帯と団結を示す意義のある行動です。

今、長時間労働の是正を求める世論が高まっています。しかし、安倍政権が進める「働き方改革」は、過労死基準をも超える上限規制や、過労死を促進する残業代ゼロ法案で、逆に長時間労働を推進する政策です。労働者の生活と権利をまもるために、メーデーに参加しましょう。

### 労働組合に

入りませんか！

職場でいじめ(パワハラ)をうけている・自由に休みがとれない・残業代が支払われない・突然会社から解雇と言われた・賃金が上がらないなど、職場での悩みはありませんか。そんなときは一人で悩まずに、私たち労働組合にご相談ください。

私たちJMITU(日本金属製造情報通信労働組合)は、全国組織の労働組合です。正社員でなくても、パートやアルバイト、派遣社員の方でも加入できる組合です。働きやすい職場をつくるには労働組合が必要です。ぜひ職場に労働組合を作りましょう！

労働相談、ご意見、ご質問は、下記にお寄せください。

JMITU 本部 TEL 03-5961-5601 : FAX 03-5961-5603

ホームページ <http://www.jmiu.com/>

JMITU 大田地域支部 TEL 03-3734-3502 : FAX 03-3734-3534

ホームページ <http://www6.plala.or.jp/JMIUOOTA/>

セガグループ分会ホームページ <http://www.jmiusega.com/>